

## ★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 新井宏之 副委員長 長 敬三  
幹事 榊原久二男・中野雅之 幹事補佐 木村雄一

## ★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 齋藤宏文 副委員長 福島莊之介  
幹事 辻 政信・木寺正平 幹事補佐 牧 謙一郎・小幡 康

◎本研究会は A・P 研究会と SANE 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 8月28日(木) 9:00~16:55

29日(金) 9:00~17:20

会場 新潟大学駅南キャンパスときめいと(新潟市中央区笹口1-1 プラウカ1・2階講義室 AB, 新潟駅南口から徒歩3分。http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/access.html TEL [025] 248-8141 山田寛喜)

議題 レーダ, 環境計測及び一般

28日午前 A・P研

A・P-1. 3-D プリンターによるホーンアンテナの試作とその評価

○小林弘一・川村龍一(阪工大)・山田寛喜(新潟大)

A・P-2. 2次元マルチビーム方向計算法の検討 ○原 六蔵・若山俊夫・深沢 徹(三菱電機)

A・P-3. 上り/下り回線のアンテナ性能総合評価を目的としたバイラテラル MIMO OTA 装置

○本田和博・壁谷俊彦・狩谷健登・李 鯤・小川晃一(富山大)・小柳芳雄・佐藤 浩・上田真司(パナソニックシステムネットワークス)

SANE 研

SANE-4. Sublook 処理を用いた PoLSAR 画像における市街地検出の検討

○相馬悠紀・山本和朋・山口芳雄・山田寛喜(新潟大)

SANE-5. 円偏波相関係数と正規化相関係数を用いた人工物検出の実験的検討

○真坂元貴・佐藤亮一・山口芳雄・山田寛喜(新潟大)

SANE-6. 高分解能広観測幅化と移動目標検出を同時に実現する2チャンネル合成開口レーダ

○山岡智也・土田正芳・原 照幸(三菱電機)

28日午後 オーガナイズドセッション「レーダ・センシング研究の進展を支えるシステム, 信号処理技術とその応用」(12:40~)

共通-7. [依頼講演] 100 kg 級小型衛星に搭載可能な X 帯合成開口レーダシステム

○齋藤宏文・アクバル プリランド リズキ・富木淳史(JAXA)・ピネイ ラビンドラ・成瀬涼平・パイン バデウ ハデイタヤ(東大)・張 淼・廣川二郎・安藤 真(東工大)

共通-8. [依頼講演] データ分割による地表設置型合成開口レーダ大気補正のためのCS検知法

○高橋一徳(東北大)・松本正芳(パスコ)・佐藤源之(東北大)

共通-9. [依頼講演] ALOS-2 搭載 PALSAR-2 アンテナフライトモデルの開発

○井口岳仁・大野新樹・佐倉武志・針生健一(三菱電機)・勘角幸弘・鈴木新一(JAXA)

A・P研

A・P-10. アレーアンテナ及び複数周波数を用いた近距離物体位置推定

○間宮拓朗・藤元美俊・堀 俊和(福井大)・田端隆伸・堀 智(小島プレス)

A・P-11. Khatri-Rao 積仮想アレーを用いた MIMO ドップラレーダによる屋内人物位置推定に関する検討

○若松洋介・山田寛喜・山口芳雄(新潟大)

A・P-12. MIMO レーダを用いた複数生体位置の同時推定法

○今野恵太・笹川 大・本間尚樹(岩手大)・西森健太郎(新潟大)・竹村暢康・満井 勉(サムスン日本研)・恒川佳隆(岩手大)

A・P-13. 2D DOA Estimation Using Patch Antenna Array With USV-MUSIC

○Vira Rahayu・Kei Yokokawa・Qiang Chen(Tohoku Univ)・Yono Hadi Pramono(ITS)

A・P-14. [IEEE AP-S Japan Chapter 特別講演] 偏波レーダによる地球観測(口頭発表) 山口芳雄(新潟大)

29日午前 オーガナイズドセッション「レーダ・センシング研究の進展を支えるシステム, 信号処理技術とその応用」

共通-1. [依頼講演] インターフェロメトリデータを用いた Pi-SAR2 偏波データの位相校正 森山敏文(長崎大)

共通-2. [依頼講演] Pi-SAR2 のアロングトラックインターフェロメトリによる船舶検出

○児島正一郎・灘井章嗣・梅原俊彦(NICT)

共通-3. [依頼講演] 水田からの X バンド多入射角多偏波 SAR データの特徴抽出

○有井基文・小松都茂美・西村健志（三菱スペース・ソフトウェア）・渡邊卓磨・山田寛喜（新潟大）・小林達治（NICT）

#### SANE 研

SANE-4. 四成分散乱モデル分解法に基づくスペクトルフィルタリングの検証

○落合拓也・山口芳雄・山田寛喜・雀一（新潟大）

SANE-5. レーダにおけるドップラ効果の一考察 小林弘一（阪工大）

SANE-6. AFF 法を用いた複素誘電率推定に関する検討

○高岡峻一（新潟大）・小林弘一（阪工大）・山口芳雄・山田寛喜（新潟大）

29 日午後（12：40～）

A・P-7. [チュートリアル講演] 液体中におけるアンテナ利得測定

○石井 望（新潟大）・浜田リラ・渡辺聡一（NICT）

オーガナイズドセッション「レーダ・センシング研究の進展を支えるシステム，信号処理技術とその応用」

共通-8. [依頼講演] 圧縮センシングと到来方向推定 ○西村寿彦・遠藤大樹・小川恭孝・大鐘武雄（北大）

共通-9. [依頼講演] On the Covariance Matrix in Array Signal Processing

○Koichi Ichige・Yu Iwabuchi（Yokohama Nat'l Univ.）

#### SANE 研

SANE-10. 小型衛星搭載アンテナの展開部におけるチョークフランジ導波管非接触給電

○成瀬涼平（東大）・齋藤宏文（JAXA）・張 森・広川二郎（東工大）

SANE-11. 海洋レーダによる二次元表層流観測における Khatri-Rao 積仮想アレーの効果について

○龍川卓也・山田寛喜・山口芳雄（新潟大）・平野圭蔵・伊藤浩之（長野日本無線）

SANE-12. GNSS 受信データに対する積雪，着雪の影響評価に関する研究

○吉原貴之・毛塚 敦（電子航法研）・本吉弘岐（防災科研）・齋藤 享（電子航法研）・山口 悟（防災科研）

#### A・P 研

A・P-13. ハイブリッド結合器と移相器を利用した Wheeler 効率測定

○渡辺康平・石井 望（新潟大）

A・P-14. ハイブリッド結合器を用いた 1 ポート測定による平衡給電型アンテナの平衡・不平衡モード分析

○木下加那子・石井 望（新潟大）

A・P-15. Fast MoM Analysis of Large-Scale Reflectarray by using Gauss-Seidel Scheme

○Zhang Jiawei・Keisuke Konno・Chen Qiang（Tohoku Univ）・Wang Zhiliang（USTB）

◆IEEE AP-S Japan Chapter 共催

◎28 日研究会終了後に，懇親会を開催致しますので，奮って御参加下さい。

☆A・P 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

9 月 18 日（木），19 日（金） 東工大大岡山キャンパス [締切済] テーマ：マイクロ波・ミリ波，メタマテリアル，一般

10 月 15 日（水）～17 日（金） 北大 [8 月 10 日（日）] テーマ：無線電力伝送，一般

11 月 13 日（木），14 日（金） 山形大米沢キャンパス [9 月 10 日（水）] テーマ：無線通信，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

中野雅之（KDDI 研）

E-mail：ap\_ac-secretary@mail.ieice.org

☆SANE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

10 月 22 日（水）～24 日（金） Ramada Plaza Melaka, Malacca, Malaysia [締切済] テーマ：ICSANE 2014（International Conference on Space, Aeronautical and Navigational Electronics）

11 月 21 日（金） 千葉大アカデミックリンクセンター [9 月 12 日（金）] テーマ：リモートセンシング及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

灘井章嗣（NICT）

TEL [042] 327-6496

E-mail：nandai@nict.go.jp

辻 政信（JAXA）

TEL [050] 3362-7646

E-mail：tsuji.masanobu@jaxa.jp